

みなし決議に関する2020年度第1回理事会議事録

1. 2020年度第1回理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容

第1号議題 業務執行理事の選任

齋藤正美理事を、業務執行理事とする。

補足説明：柳啓明事務局員を事務局長代行とし、これに伴う研究組織の事務局責任者、監査・定期提出書類の事業担当者、組織の基本情報の決定と指示、を担い、その後の展開・執行及びその他の業務を事務局長代行が担うものとする。業務執行上の分担は、引き続き明確化する

第2号議案 事務局長代行の選任

柳啓明事務局員を、事務局長代行とする。

第3号議案 受託契約の解約について

委託契約「千葉市における医療・福祉行政改革の再検討―千葉市立病院の将来的な病院事業の在り方に関する分析―」を解約する。

第4号議案 科研費担当理事の選任

齊藤壽彦理事を、科研費担当理事に選任する。

第5号議案 研究委員会委員長の交代

研究委員会委員長が、合田寛理事から齊藤壽彦理事に交代する。

2. 1の事項を提案した者の氏名

代表理事 相田 利雄

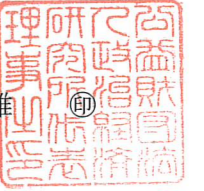
3. 2020年度第1回理事会の決議があったものとみなされた日

2020年4月28日、代表理事相田利雄が理事、監事の全員に対して上記第1回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、同日付で理事の全員から電磁的方法により同意の意思表示を得、監事の異議が無かったため、法人法第96条及び定款第42条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の第1回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、2020年度第1回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、法人法第97条及び定款第43条の規定に基づき本議事録を作成し、代表理事ならびに決議作成理事が記名押印する。

2020年5月5日  
公益財団法人 政治経済研究所

代表理事 相田利雄



議事録作成者 業務執行理事 齋藤正美



議事録作成者 業務執行理事 石田博美



## みなし決議に関する2020年度第2回理事会議事録

### 1. 2020年度第2回理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

#### 第1号議題 評議員会の開催の件

議案1 2020年6月19日(金) 18時～20時決定について

議案2 政治経済研究所 付属東京大空襲・戦災資料センター1F会場について  
補足説明：例年研究所3F会議室を使用していたが、新型コロナウイルス感染防止のため換気の良いセンター1Fに移動する。また、会議の形態は、基本は対面集合会議とするが、オンライン参加を補助的に使う。

#### 第2号議題 2020年度6月定期提出書類の件

議案1 2019年度事業報告について

議案2 2019年度決算について

#### 第3号議題 監事監査の件

議案1 会計監査について

議案2 業務監査について

#### 第4号議題 業務執行報告の件

議案1 東京大空襲・戦災資料センター業務執行報告について

#### 第5号議題 2020年度研究費配分の件

議案1 2020年度研究費申請開始について

#### 第6号議題 ガイドラインの件

議案1 東京大空襲・戦災資料センターにおける新型コロナウイルスの感染拡大予防ガイドラインについて

#### 第7号議題 覚書について

議案1 証言映像マップ覚書について

### 2. 1の事項を提案した者の氏名

代表理事 相田 利雄

### 3. 2020年度第2回理事会の決議があったものとみなされた日

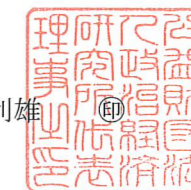
2020年5月29日、代表理事相田利雄が理事、監事の全員に対して上記第2回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、同日付で理事の全員から電磁的方法により同意の意思表示を得、監事の異議が無かったため、法人法第96

条及び定款第42条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の第8回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、2020年度第2回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、法人法第97条及び定款第43条の規定に基づき本議事録を作成し、代表理事ならびに決議作成理事が記名押印する。

2020年6月1日  
公益財団法人 政治経済研究所

代表理事 相田利雄



議事録作成者 業務執行理事 齋藤正美



議事録作成者 業務執行理事 石田博美



## みなし決議に関する2020年度第3回理事会議事録

### 1. 2020年度第3回理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容

#### 第1号議題

2020年7月31日に公開研究会（報告者：金子勝）を開催する。

#### 第2号議題

第4回奨励賞（2020年度）選考委員会委員長を齋藤正美理事に選任する。

### 2. 1の事項を提案した者の氏名

代表理事 相田 利雄

### 3. 2020年度第2回理事会の決議があったものとみなされた日

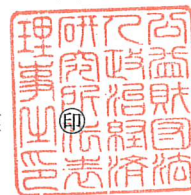
2020年6月19日、代表理事相田利雄が理事、監事の全員に対して上記第3回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、同日付で理事の全員から電磁的方法により同意の意思表示を得、監事の異議が無かったため、法人法第96条及び定款第42条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の第3回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、2020年度第3回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、法人法第97条及び定款第43条の規定に基づき本議事録を作成し、代表理事ならびに決議作成理事が記名押印する。

2020年6月26日

公益財団法人 政治経済研究所

代表理事 相田利雄



議事録作成者 業務執行理事 齋藤正美



議事録作成者 業務執行理事 石田博美





みなし決議に関する2020年度第4回理事会議事録

1. 2020年度第4回理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容

第1号議題 研究費配分について

2020年度の研究費配分について、申請のあった個人研究(3件)、プロジェクト研究(6件)、特定研究(1件)に研究費を配分することを承認した。

第2号議題 短期・常勤勤務者就業規則ならびに給与規程等諸規定について

「短時間勤務者就業規則(改定案)」、「常勤勤務者就業規則」、「常勤勤務者給与規程」、「ハラスメント防止規定」、「内部通報制度運用規定」を継続審議とすることを承認した。

第3号議題 研究所3階会議室窓改修について

新型コロナウイルス対策として、3階会議室の換気機能を強化する工事を行うために、その見積もり調査を象地域設計・新協建設に委託することを承認した。

第4号議題 研究費配分後、研究期間内に完了しないケースについて

2019年度内の調査研究費配分を受けた研究が、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で完了しない旨の申し出があれば、1年間を限度に研究期間の延長を認めることを承認した。

2. 1の事項を提案した者の氏名

代表理事 相田 利雄

3. 2020年度第4回理事会の決議があったものとみなされた日

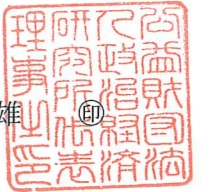
2020年7月31日、代表理事相田利雄が理事、監事の全員に対して上記第4回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、同日付で理事の全員から電磁的方法により同意の意思表示を得、監事の異議が無かったため、法人法第96条及び定款第42条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の第4回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、2020年度第4回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、法人法第97条及び定款第43条の規定に基づき本議事録を作成し、代表理事ならびに決議作成理事が記名押印する。

2020年8月7日

公益財団法人 政治経済研究所

代表理事 相田利雄



議事録作成者 業務執行理事 齋藤正美



議事録作成者 業務執行理事 石田博美



## みなし決議に関する2020年度第5回理事会議事録

### 1. 2020年度第5回理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

#### 第1号議題 研究費配分について

鬼嶋淳研究員が、2020年度のプロジェクト研究費を、7月10日の期限以降に申請したことに対し、9万円支給することを承認した（10万円の申請に対し、鬼嶋氏を除いた配分後、全体で9万円残っていたため）。

#### 第2号議題 公開研究会について

2020年度9月28日に、二木立氏を報告者として、「コロナ危機が日本社会と医療・介護・社会保障に与える影響」を題名とする公開研究会を、オンラインにて開催することを承認した。

#### 第3号議題 第4回『政経研究』奨励賞の選定について

斎藤幸平氏の著書『大洪水の前に——マルクスと惑星の物質代謝』に対し、『政経研究』奨励賞を贈呈することを承認した。

#### 第4号議題 職員・常勤勤務者就業規則等について

常勤勤務者就業規則、常勤勤務者給与規程、ハラスメント防止規定、内部通報制度運用規定、短期勤務者就業規則について、理事会内で指摘された修正点を反映し、説明会を開き公表したうえで、労働者代表による署名をもって、労働基準監督署に提出することを承認した。

#### 第5号議題 3階会議室換気機能強化工事について

3階会議室の換気扇の更新、給気口及び給気ファンの新設の工事を、象地域設計に依頼することを承認した。

#### 第6号議題 理事会の持ち方について

①10月の理事会をZoomと対面を併用しながら議決権のある理事会を開催すること、②Zoom参加者に手当を支給することを承認した。

### 2. 1の事項を提案した者の氏名

代表理事 相田 利雄

### 3. 2020年度第5回理事会の決議があったものとみなされた日

2020年9月25日、代表理事相田利雄が理事、監事の全員に対して上記第5回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、同日付で理事の全員から電磁的方法により同意の意思表示を得、監事の異議が無かったため、法人法第96条及び定款第42条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の第5回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、2020年度第5回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、法人法第97条及び定款第43条の規定に基づき本議事録を作成し、代表理事ならびに決議作成理事が記名押印する。

2020年10月9日

公益財団法人 政治経済研究所

代表理事 相田利雄



議事録作成者 業務執行理事 斎藤正美



議事録作成者 業務執行理事 石田博美



## 2020年度第6回理事会議事録

2020年10月23日(金)17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

相田利雄(代表理事) 合田寛 齋藤正美 齊藤壽彦 原富悟  
石田博美 長谷川元彦 中川雄一郎

理事10名中8名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 西森亮太 2名中2名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、原富理事、中川理事を選任した。

### [報告事項]

#### (1)公益目的事業

##### ①刊行物について

齋藤正美理事より、『政経研究』No.115の進捗状況について報告が行われた。

合田理事より、『政経時報』No.23-2の進捗状況について報告が行われた。

##### ②公開研究会

齊藤壽彦理事より、2020年度第2回公開研究会(報告者:二木立、テーマ「コロナ危機が日本社会と医療・介護・社会保障に与える影響」、2020年9月28日開催)の開催報告が行われた。

##### ③各種研究会

合田理事より、現代経済研究室研究会の開催報告(報告者:齋藤正美、テーマ「『労働における動力と制御の矛盾』論によるコンピューター技術の内的発達の解明」2020年10月19日開催)が行われた。

続いて、現代経済研究室研究会の開催予告(報告者:聴濤弘、テーマ「中国問題を考える」、2020年11月30日開催予定)が行われた。

##### ④その他研究委員会から

特になし。

##### ⑤東京大空襲・戦災資料センターの運営報告

石田理事より、東京大空襲・戦災資料センター2020年度第6回運営委員会の議事およびセンター関連の報道について報告が行われた。

##### ⑥「中間決算」と「収益事業」

長谷川理事より、中間決算報告(貸借対照表、予算執行状況)および収益事業について、寄付やマンションの空室状況に関する報告が行われた。

### ⑦業務執行報告

石田理事より、2020年度4月～9月期の業務執行報告(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策、新規事業への取り組み、雇用契約更新業務の代行)が行われた。

### [審議事項]

議題1 『政経研究』奨励賞贈呈式について(担当:齋藤正美理事)

2020年11月2日14時～15時に『政経研究』奨励賞贈呈式を開催することを、有効議席7名中7名の賛成で承認した。

議題2 科研費担当理事の選任について(担当:齋藤正美理事)

齊藤壽彦理事を科研費担当理事とすることについて、有効議席7名中7名の賛成で承認した。

議題3 研究費実績報告について(担当:齊藤壽彦理事)

2019年度の研究実績報告(研究代表者:浦田賢治、稲正樹、山田壽則、金澤孝、根森健、野口邦和、山辺昌彦、相田利雄、小菌崇明、青木哲夫、合田寛、井上祐子)について、有効議席7名中7名の賛成で承認した。

議題4 配信機材の購入について(担当:柳啓明 事務局長代行)

オンライン配信の質向上に必要な機材についての説明が行われ、予算40万円の申請が行われた。理事会は、有効議席7名中7名の賛成でこれを承認した。

担当以外の理事より、法人の知名度向上のため、記録した映像を簡易的に編集し、速やかに公開するべきとの意見が出された。

議題5 育児・介護休業規程について(担当:石田博美理事)

社会保険労務士の加藤深雪氏が作成した育児・介護規程について、有効議席7名中7名の賛成で承認した。

議題6 コンプライアンス委員会の設置について(担当:石田博美理事)

まず、2020年10月22日に開催された就業規則等説明会について報告が行われた。これによると、説明会において、就業実態と規則の乖離について質問が集中し、実態に即した就業規則の作成を求める声が多かったという。

今後の段取りとして、次の通り提案が行われた。

①労働者過半数代表を投票による選挙によって決定する、②代表者が職員からの意見を募集しとりまとめる、③代表者が意見書を書く、④就業規則等諸規則を意見書とともに労働基準監督署に提出する。⑤併せて36協定を代表者と締結し、提出する。

また、(1)内部通報制度運用規程に基づき、法令違反等を確認するための窓口としてコンプライアンス委員会(理事、監事、評議員各1名)を設置するとの提案が行われた。



評決に先立ち、担当以外の理事から次のような意見が述べられた。

規則の有無にかかわらず、労働基準法は守るべき法律として存在することを前提として、ハラスメントのような感覚的な要因に基づくトラブルなど、客観的・合理的な基準が作りにくい領域がある。その他にも、法や規則が、労働の実態から乖離した現状がある。これについては、労使相互の話し合いを通じて、労働の方法や内容について納得し、信頼関係に基づく労働の慣習を形成することで応じる必要がある。法人内で維持ないし形成されてきた慣習は労働協約と同じ効果を持つ。

議論をした後、理事会は①～⑤および(1)の提案について、有効議席7名中7名の賛成で承認した。

[意見]

審議事項終了後、理事より東京大空襲・戦災資料センターの活動について、意見が述べられた。

①戦争体験者の語り継ぎ、資料の保存が困難になってきている。東京大空襲・戦災資料センターがやるかどうかは別として、どこかがそれを引き受けなければならない状況があるのではないか。そのなかで、センターがどのような役割を担うのか、検討する時期に来ている。

②全国の戦災資料センターの連絡網はあるか。(応答：全ての資料館ではないが、民間の平和関連施設の連絡会議があるにはある。しかし、個人が会員になっている状況で、センターでは今後、事務局員の比江島が関わる予定である)

③資料の保存などを民間で続けていくことも、それを運動として政治課題として引き上げるのも困難な状況であるが、これについても検討していく必要がある。

今回の2020年度第7回理事会は、2020年11月27日(金)17時00分に行われる。また、それ以降については、2021年1月22日(金)、2月26日(金)に開催される予定である。

以上の議決を明確にするため、議長、議事録署名人及び出席監事は次に記名押印する。

2020年10月30日  
公益財団法人政治経済研究所

議長 相田 利雄



署名人 中川雄一郎



原富 悟



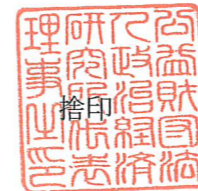
監事 國吉 昌晴



西森 亮太



(代表理事)



(理事)



(監事)



## 2020年度第7回理事会議事録

2020年11月23日(金)17時00分～19時30分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

相田利雄(代表理事) 合田寛 齋藤正美 齊藤壽彦 原富悟

石田博美 長谷川元彦 小川雅人

理事10名中8名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2名中1名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、合田理事を選任した。

### [報告事項]

#### (1)公益目的事業

##### ①刊行物について

齋藤正美理事より、『政経研究』No.115の発送について報告が行われた。

合田理事より、『政経時報』No.23-3の進捗状況について報告が行われた。

##### ②公開研究会

審議事項へ。

##### ③各種研究会

11月30日(月)に現代経済研究室 研究会が行われた。

##### ④その他研究委員会から

特になし。

##### ⑤東京大空襲・戦災資料センターの運営報告

石田理事より、東京大空襲・戦災資料センターへの来館者が4月からの累計で1500人程度、例年の4分の1程度であること、東京南部生協から34万円の寄付があったこと、写真使用料についてのチーム結成準備、オンライン・コンテンツの充実化、空襲・戦災を記録する会全国連絡会議の幹事会に比江島事務局員を派遣、語り継ぐ集いについて中村学園で開催予定、プロジェクターの故障について報告が行われた。

##### ⑥大井の土地問題

長谷川理事より、この間の動きについて、時系列順に報告が行われた。11月8日に権田氏、鬼嶋氏で現地を確認し、鬼嶋氏より「当時確認出来なかった資料があるかもしれない。観ないで処分はしないでほしい」との要望。11月10日、権田氏が埼玉民医連の齋藤専務と現地で会い、プレートの移設と資料保管について要請。11月19日、長谷川理事が埼玉民医連の齋藤専務と埼玉民医連事務局で面会し、今回の依頼内

容について確認を行った。今後、鬼嶋氏の予定を確認し、それに併せて倉庫の中身を確認、処分する予定を決める。そのうえで、倉庫の取り壊しと、売却の手続きを進める。

### [審議事項]

#### 議題1 公開研究会の開催について

齋藤壽彦理事より、2020年度第3回公開研究会・シンポジウム「積極財政をどのように考えるか——MMTに関する報告と討論」を、12月14日(月)13時～16時の日程で開催することについて提案が行われ、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

#### 議題2 研究所事業・組織体系図の見直し

齋藤正美理事より、すべての研究室を研究委員会のもとに統括する組織図案について提案が行われた。

理事会はこの提案について、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

また、外部から法人の内部事情について不透明であるとの声があがっているため、研究室・研究員の現状についての調査を進めるよう、理事の中から要望があった。

#### 議題3 就業規則などへの意見書への対応

石田理事より、就業規則、給与規程、意見書(有給休暇の一日単位の取得、事務局長の職位にある者、勤務時間の実態、健康診断の費用全額補助と年1回の実施を希望、常勤勤務者への安全・衛生についての教育への支援)、三六協定の内容を本理事会で確認したうえで、その後、労働者代表に署名をもらい、労基署に就業規則、給与規程、意見書、三六協定を提出する手続きを進めるとの案、および内部通報制度に基づくコンプライアンス委員会の人事案(相田代表理事、原富理事、国吉監事、坂本評議員)の提案が行われた。

種々議論を行い、運用を続けながら実態に即した規則改定、先に提案された石田理事の提出手続きの提案について、有効議席7名中7名の賛成で可決した。コンプライアンス委員会の決議については、人事案の内諾を得た上で、次回以降審議することとなった。

意見書への回答については、有給休暇の一日単位の取得は可能、事務局長の職位にある者は柳啓明事務局長代行、勤務時間の実態と規則の乖離については今後検討、健康診断については今後検討、とする。

#### 議題4 一時金の支払い

石田理事より、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う収益悪化に伴い、一時金の支払いを減額する案について説明が行われた。

種々議論を行い、減額は行わず、例年通りの金額を支給することを、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

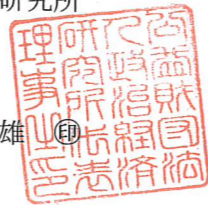
次回の2020年度第8回理事会は、2021年1月22日(金)17時00分に行われる。また、それ以降については、2月26日(金)に開催される予定である。

以上の議決を明確にするため、議長、議事録署名人及び出席監事は次に記名押印する。



2020年 11月 30日  
公益財団法人政治経済研究所

議長 相田 利雄



署名人 合田 寛



齋藤 正美



監事 國吉 昌晴



(代表理事)



(理事)



(監事)



## 2020年度第8回理事会議事録

2021年1月21日(金)17時00分～19時30分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

相田利雄(代表理事) 合田寛 齋藤正美 齊藤壽彦 原富悟

石田博美 長谷川元彦 中川雄一郎

理事10名中8名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 西森亮太 2名中2名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正壽彦事、石田理事を選任した。

### [報告事項]

#### (1)公益目的事業

##### ①刊行物について

齋藤正美理事より、『政経研究』No.115の発送、No.116の進捗状況、No.117の企画案について報告が行われた。また、編集委員会の任期が迫っており、新メンバーを勧誘する必要があることが述べられた。

合田理事より、『政経時報』No.23-3の進捗状況について報告が行われた。

##### ②公開研究会

齊藤壽彦理事より、報告が行われた。2021年3月15日に萩原伸次郎氏(当法人評議員、横浜国立大学)を報告者として開催する。一般の方にはオンライン、関係者はオフラインで参加する。

##### ③各種研究会

齊藤壽彦理事より、2021年2月22日に鳥畑与一氏を報告者として、現代経済研究室の研究会が開催される事が報告された。

##### ④その他研究委員会から

柳事務局長代行より、2018年6月に作成された研究室再編案の資料について報告が行われた。また、齋藤正美理事より、研究室再編について、室長にアンケートをとるための準備を進めていることが報告された。長谷川理事より、稼働している研究室としていない研究室を齋藤正美理事を中心に選別し、していない研究室については解散と見なす判断を下すべきではないかとの提案が行われた。

##### ⑤緊急事態宣言の対応

石田理事より、シフト表を作成し施設内の職員数を制限していること、来館者は非常に少ないが大きな問題は起こっていないことなどが報告された。

齋藤正美理事より、3階の換気扇交換が行われたので安全に活用することが出来ること、リモートワークでの職務に特に問題はないこと、CO2の濃度計の設置が望まれることが報告された。

##### ⑥東京大空襲・戦災資料センターの運営報告

石田理事より、吉田理事・館長が全国空襲被害者連絡協議会に関わること、コロナ禍で会えない体験者同士をつなぐ「体験者通信」、語り継ぐつどいのオンライン開催、吉田理事の退任による後任探しの状況について報告された。

##### ⑦大井の土地処分について

長谷川理事より、各方面に連絡を取りながら書庫の処分についての具体的な取り決めが行われたこと、2月6日に鬼嶋氏と立ち会いのもと書類の整理を行う予定であったが4月に延期となったことが報告された。

##### ⑧正味財産増減計算書総括表の報告

長谷川理事より、正味財産増減計算書総括表(2020年4月1日～12月31日)について、収入については前年並みを維持しているが、1000万の損益が発生しているなどの報告が行われた。また、1月30日に予算検討会議を開催することが報告された。

その他、収入減について種々議論が行われた。

##### ⑨2021年上半期の予定表について

柳事務局員より2021年1月～6月の予定表の報告が行われた。また、評議員会の日程を3月17日～19日の間で調整することとなった。

### [審議事項]

#### 議題1 研究員の採用について

齊藤壽彦理事より、孫曉明氏(文学博士、関西大学)を本研究所研究員として推薦することが提案された。

これを受けて理事会は、孫曉明氏の採用について研究委員会に諮問することを、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

#### 議題2 ハラスメント窓口、内部通報窓口の設置について

石田理事より、ハラスメント・内部通報制度の流れ、ハラスメント窓口担当者の選任について、コンプライアンス委員会の選任、ホームページ上の窓口設置について報告が行われ、これらについて引き続き審議を行うことを提案した。

理事会は、この件について、ホームページ上の窓口設置案の作成をまずは行い、その他

については継続審議とすることを、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

議題3 山口孝会長退任の確認

齊藤正美理事より、山口孝元代表理事の当法人における地位について、理事会で確認するよう提案が行われた。

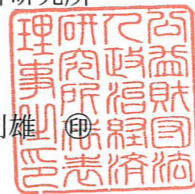
審議の結果、2019年7月に鶴田満彦前代表理事が会長に就任したことに伴い、山口孝元代表理事は会長職を退任したことを、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

その他

次回の2020年度第9回理事会は、2021年2月26日(金)17時00分に行われる。また、それ以降については、評議員会の日程調整終了後に決定する。

2020年 1月 28日  
公益財団法人政治経済研究所

議 長 相田 利雄



署 名 人 石田 博美



齋藤 正美



監 事 國吉 昌晴



西森 亮太



(代表理事)



(理事)



(監事)





## 2020年度第9回理事会議事録

2021年2月26日（金）17時00分～19時30分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

相田利雄（代表理事） 合田寛 齋藤正美 齊藤壽彦 原富悟

石田博美 長谷川元彦 小川雅人

理事10名中8名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 西森亮太 2名中2名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、小川理事、長谷川理事を選任した。

### [報告事項]

#### (1)公益目的事業

##### ①刊行物について

齋藤正美理事より、『政経研究』No.116の進捗状況、No.117の企画案、新たな編集委員の募集状況について報告が行われた。

合田理事より、『政経時報』No.23-4の準備状況について報告が行われた。

##### ②公開研究会

齊藤壽彦理事より、報告が行われた。2021年3月15日に萩原伸次郎氏（当法人評議員、横浜国立大学）を報告者として開催することが、確認までに報告された。

##### ③各種研究会

齊藤壽彦理事より、2021年2月22日に鳥畑与一氏を報告者として、現代経済研究室の研究会が開催された事が報告された。

##### ④その他研究委員会から

MMTや積極財政に関する研究会は、とりわけてネット上において注目度が高く、集客率も高いが、論争的な分野ということもあり、議論のファシリテートに課題があることが指摘された。

##### ⑤緊急事態宣言の対応

齋藤正美理事より、シフト表の作成等で人員制限をし、対応しているとの報告がなされた。

⑥東京大空襲・戦災資料センターの運営報告

石田理事より、来館者の減少（4月からの累計で2600人程度、前年度の3分の1以下）、会費・募金については前年度並み、図録の作成、語り継ぐつどいのオンライン開催、換気扇交換、通気口設置工事についての報告が行われた。

⑦会計処理規程の作成について

長谷川理事より、会計処理規程の作成状況について報告が行われた。規定案を作成し、運用可能かどうかを検証したうえで、理事会に提出する見込みだという。

⑧理事候補の選定手続きについて確認

理事会は、理事候補の選定手続きについては、定款及び評議員会運営規則を原則として、代表理事および業務執行理事を中心に候補案を作成したうえで、理事会において可決されるとの確認を行った。手続きの透明化については、今後議論してゆく見通しが示された。

[審議事項]

議題1 公開研究会について

合田理事より、3月15日（月）18時30分より、萩原伸次郎氏を報告者として、「アメリカ経済の現局面とバイデン政権の課題」と題した公開研究会を開催することが提案された。

広報の課題について事務局から状況報告がなされ、種々議論した後、理事会は有効議席7名中7名の賛成で、公開研究会の開催を可決した。

議題2 研究員の採用について

齊藤壽彦理事より、研究委員会が孫曉明氏を研究員として適格な業績と人格を備えており、採用したとの報告がなされた。

理事会はこの決定を、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

議題3 2020年3月定期提出書類について

議案1

斎藤正美理事と石田理事は、事業計画書の内容について報告を行った。

理事会は、誤字や「北砂アカデミア」に関する記述の修正を要求した上で、有効議席7名中7名の賛成で事業計画書を評議員会に提出することを可決した。

議案2

長谷川理事は、予算書の内容について報告を行った。会計上、センターの収入はほぼ実績値であるが、研究所についてはそれに乏しいため、経営の努力が必要であること、赤字が計上されているが発信のための新規事業が提案されているためであることが報告された。

理事会は、有効議席7名中7名の賛成で、予算書を評議員会に提出することを可決

した。

#### 議題4 評議員会の日程について

相田代表理事より、評議員会を3月18日(木)17時から開催するとの提案がなされた。理事会は、有効議席7名中7名の賛成でこの提案を可決した。

#### 議題5 「理事の職務権限」の確認

石田理事より、写真資料の使用許可について、「別表 理事の職務権限」に照らし合わせて業務執行理事が行えるとの説明を行った。そのうえで、写真資料の使用許可を業務執行理事が行うことが可能か、理事会に審議を求めた。

理事会は、これを可能であるとの見解を示し、これを有効議席7名中7名の賛成で可決した。

#### 議題6 コンプライアンス委員の選出について

石田理事より、原富理事、国吉監事、坂本輝正評議員がコンプライアンス委員への就任を承諾した旨が報告され、就任の適切さについて審議を求めた。

理事会は、原富理事、国吉監事、坂本評議員がコンプライアンス委員へ就任にすることを、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

#### 議題7 センターの看板設置について

石田理事より、センターの来館者から、場所が目立たず視認することが難しいとの声が出ているため、外壁に大きめの看板を設置する許可を求めた。

理事会は、表現のあり方を確認することを前提とし、センターの看板を設置することを、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

#### 議題8 株式会社イールーとの業務委託契約について

石田理事より、センターの外国人利用者への対応、および英語キャプション、パンフレット等の英語表記に関する業務を株式会社イールーに業務委託することを提案した。

理事会は、この提案を、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

#### 議題9 法人75周年企画について

柳事務局長代行より、法人75周年企画として、『政経資料月報』の総目次および解題を資料集として発行することを旨とした企画書を提出、提案した。

理事会は、この提案を有効議席7名中7名の賛成で可決した。

その他



次回の2020年度第10回理事会は、3月18日15時から開催される。

2021年 3月 7日

公益財団法人政治経済研究所

議 長 相田 利雄



署 名 人 小川 雅人



石田 博美



監 事 國吉 昌晴



西森 亮太



(議長)



(理事)



(監事)



2020 年度第 10 回理事会議事録

2021 年 3 月 18 日（金）15 時 00 分～16 時 30 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講義室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

相田利雄（代表理事） 合田寛 齋藤正美 齊藤壽彦

石田博美 長谷川元彦 中川雄一郎

理事 10 名中 7 名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、合田理事、中川理事を選任した。

[報告事項]

(1)公益目的事業

①センター活動報告

石田理事より、語り継ぐ集いのオンライン開催、図録の進捗状況などが報告された。

②理事改選について

石田理事より、3 月 1 日に行われた臨時運営委員会の議論の内容について報告が行われた。吉田館長・理事より後任として、運営委員・主任研究員の岡野氏を推す声上がる一方、運営委員・事務局員・学芸員の比江島大和氏と研究員の小園崇明氏の 2 名が理事への立候補を表明した。理事の選出方法については明確な規定がないこと、運営委員会規則に理事 2 名が参加する旨の規定があることなどを鑑み、改めて理事会で考え方を打診することとした。

法人に推薦および立候補制度は存在しないため、理事会は、代表理事と執行理事を中心に様々な可能性を考慮しながら、理事候補を検討するとの見通しを示した。

[協議事項]

協議事項 1 評議員会の進行について

会長選任の手続きおよび、事業計画書、予算書の担当者、およびその概要についての確認が行われた。

[審議事項]

議題 1 研究員の採用について

齊藤壽彦理事は、望月穂貴氏を研究員とする件について、研究委員会の諮問を要望した。理事会は、有効議席 6 名中 6 名の賛成で、望月氏の研究員採用について研究委員会に諮問することを承認した。

次回の 2021 年度第 1 回理事会は、別途協議の後、日程が決定される。

2021 年 3 月 24 日  
公益財団法人政治経済研究所

議長 相田 利雄



署名人 合田 寛



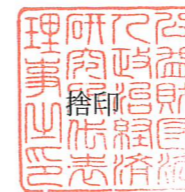
中川 雄一郎



監事 国吉 昌晴



(議長)



(理事)



(監事)

